

# ワタケンだより

Do our best

秋号  
2023年  
No.70

特集

ワタコラ 工務部 千里久由香さん  
営業部 久保 博幹さん

トピックス

新入社員紹介 土木部 岩根 榊乃李さん  
安全推進協会総会を開催  
県建設業協会から永年勤続表彰  
地域貢献活動と防災訓練を実施



八反畑の家



志下の家 内外装



佐野の家

ワタケンの家シリーズ/裾野市、沼津市

## 一歩一歩の積み重ね

代表取締役  
渡辺 正高

今年には関東大震災からちょうど一〇〇年にあたる年です。現在では地震が発生した九月一日を「防災の日」として制定し、当時の災害を中心とした悲惨な状況やその後の防災や復興への取り組みを検証する試みが各種メディアなどでなされました。

当社も関東大震災とは密接なかわり合いがあります。当社の一〇〇周年誌によると「関東大震災復興工事のため、大手請負会社の下請に従事するため東京に進出」という記載があり、大都市の復興事業に関与していた記録が残っています。

関東大震災以降の復興事業では耐震性の強い建築物の必要性が強く認識され、東京などでは鉄筋コンクリートの耐震性の強い建築物が多く建てられました。これらは後に「復興建築」と呼ばれるようになり、今でも現役で使用されている建物が都内に数多く存在しています。これは

私の想像ですが、この時に最新の建築技術の工事に携わったことが、その後の当社の技術力の向上に繋がったのではないかと考えます。

当社に限らず、日本の近現代建設業の歴史は災害と復興と共にあつたといえます。関東大震災、第二次世界大戦からの復興、そして近年多発する自然災害を受け続け、その悲劇を乗り越えるために試行錯誤を続けながら技術力を高め、災害に強い街づくりを担っていく、私たち建設業は少しづつではありますが災害に強い社会インフラや生活拠点の実現のために技術力を積み上げてきました。関東大震災から一〇〇年経ち、その技術力は当時とは比べ物にならない程向上しましたが、それは過去の教訓から得た一歩一歩の積み重ねの果実とも言えるのです。

関東大震災から一〇〇年の歴史は当社にとっても建設業にとっても技術力向上を高め続けたい一〇〇年の歴史でもあります。私たちはこれからも災害に強い建設業者として挑み続けてまいります。

作品  
WORKS

(有)ほづや森本商店  
貸倉庫・事務所／御殿場市



神山復生病院  
在宅医療支援診療所／御殿場市



## 新入社員紹介



いわね かがり  
岩根 榊乃李  
生年月日▼  
平成16年6月1日  
血液型▼O型

配属先▼土木部  
出身地▼裾野市  
出身校▼静岡県立裾野高等学校  
趣味▼スポーツ、映画鑑賞  
意気込み▼ 三月に高校を卒業し、四月から渡辺建設に入社しました。土木部に配属となりました。四月当初は、社会人として右も左もわからず学生の部分が抜けきることができなかったと思います。しかし、一日一日を過ごしていくうちに先輩方や上司の方々の仕事に対する姿勢から少しずつですが学ぶことができたと思います。学生のころに学んできた事と全く別の世界で仕事をしたいという戸惑いや不安もありましたが、少しでも早く仕事と会社になれるよう頑張ります。また、資格取得のために一つずつ勉強していき最短合格を目指していきたく思います。

自分ができることから始め、会社や地域に貢献できるように精いっぱい頑張っていきたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

【発行】渡辺建設株式会社

〒411-2355 裾野市富沢三九四

電話 〇五五九二一〇三〇代

【編集】ワタケンだより編集部

## ワタケンだより

安全推進協会総会を開催



### 県建設業協会から 永年勤続表彰

当社の山本信一執行役員営業部長、鈴木浩二建築部長及び山本幸司建築部長がこの度、静岡県建設業協会から永年勤続表彰を受けました。これは長年にわたる建設業界への貢献を評価し毎年行われるもので、今年からは当社から先述の三名が表彰されることとなりました。

表彰式は五月二十三日に行われ、県建設業協会の石井会長より、三名への表彰状が授与されました。



## 地域貢献活動と 防災訓練を実施

五月二十日(土)、毎年恒例の地域貢献活動と防災訓練を実施しました。

地域貢献活動として本社周辺の清掃活動を行い、昨年に引き続き裾野市富沢・長泉町南一色の国道二四六号線沿線を中心に、社員約四〇名でゴミの回収等を行いました。

また、当日は昨年に引き続き防災訓練を実施しました。防災用品のチェックや停電時における非常用電源への切り替えの対応、非常食の調理などをグループに別れて確認を行いました。



# ～ワタコラ～

ワタケン社員のコラム

# 工務部工務グループ

ちりくゆか  
千里久由香さん



## 私のおすすめスポーツ ラグビー

今年はラグビーワールドカップ  
2023 フランス!



今年もTVで観戦します!

2019年、ワールドカップ日本大会。  
始めて真剣にラグビーの試合をTVで観て、予想を上回る人気。人々を引き寄せ、全国に熱狂を生んだ「にわかファン」の一員となりました。  
その後も何処かラグビーに魅了され、ルールもあまり分からないまま、国内試合に何度か足を運び盛り上がっています。

「にわかファン」とは突発的にファンになり、終わる頃にはファンをやめてしまう人のことです。

### 【ラグビーの魅力を紹介】

- ① ぶつかり合う迫力とスピード感がたまらない。
- ② 体の身軽な人から大きい人も活躍できるポジションがある。15人で守って15人で攻める、まさしくONETEAMの精神!
- ③ 生で観戦すると、TVでは聞こえないぶつかり合う音や観客の大歓声、地響きが肌で感じられる。
- ④ もちろん今は観戦しながらアルコールもOK。

ルールを知らなくても大丈夫!  
反則があるとその都度画面で説明があります



## 行ってきました!新国立競技場

2022.10.29 チャレンジカップ JAPAN vs ALLBLACKS



初めての国立競技場  
木をふんだんに使用  
日本らしいスタジアム



ALLBLACKS “ハカ”  
生で見ることができました



惜しくも  
あとワントライ!!



いい試合でした。  
お疲れ様です。

# ～ワタコラ～

ワタケン社員のコラム

# 営業部

くほひろき  
久保博幹さん



氏名 久保 博 幹  
 生年月日 平成8年1月22日  
 出身地 裾野市  
 家族 父、母、兄  
 所属 営業部  
 入社 平成30年4月  
 役職 副主任



今回のワタコラは、私の趣味であるソフトテニス（軟式テニス）について紹介します。

まずはソフトテニスとはどんなスポーツか紹介します。ソフトテニスとは、皆さんがよく知る、錦織圭選手や大坂なおみ選手が試合しているテニスとは違う競技です。

硬式テニスの原型は、フランスの修道院で行われていた「ジュド・ポーム」と言われています。「手の平の遊び」といった意味で、まさに手の平でボールを打ち合っていたのです。やがてヨーロッパの貴族に広まっていき、その後、道具やルールができていきました。

対してソフトテニスは、日本が発祥です。日本にも硬式テニスが入ってきましたが、テニスボールが高価で、また手に入りにくかったこともあり、ゴムボールが使われるようになりました。これがソフトテニスの始まりです。

競技人口は硬式が約300万人に対し、軟式が約60万人となります。プロの選手も少なく4年前からプロ宣言をする選手が始め、ここ数年で盛り上がりを見せているそんなスポーツです。



### ～軟式テニスを始めたきっかけ～

始めたきっかけは、6つ上の兄が中学生の頃ソフトテニス部に所属していたことです。

家にはテニスラケットがあったため、よく家の壁に向かってボールを打っていました。

本格的に始めたのは小学校6年生の時にテニス教室に通い始めてからになります。

その後中学、高校、社会人になった今でも続けています。

現在は、沼津市を拠点としたテニスクラブに所属し、平日の仕事終わりや休日の昼間の時間を使って練習をしています。



### ～今後の目標～

所属するクラブでの目標としては、毎年開催される静岡県のクラブ1位を決める大会があり、そこで男女のダブルス優勝を目指しています。

個人の目標としては、個人戦で静岡県ベスト4に入り天皇杯に出場することです。昨年はベスト16、一昨年はベスト8、ベスト4の壁は高いですが頑張りたいと思います!